

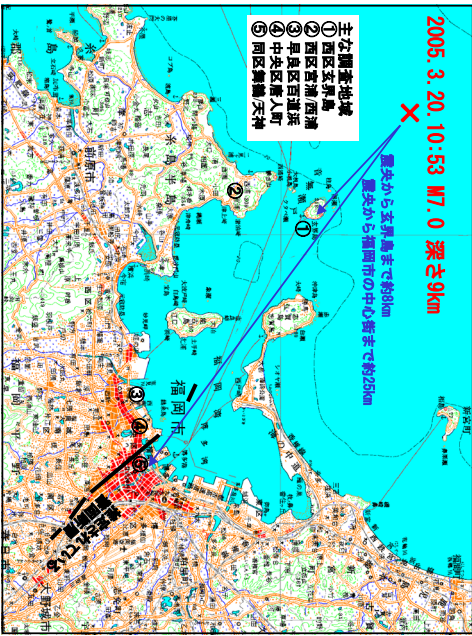
福岡西方沖地震の災害調査



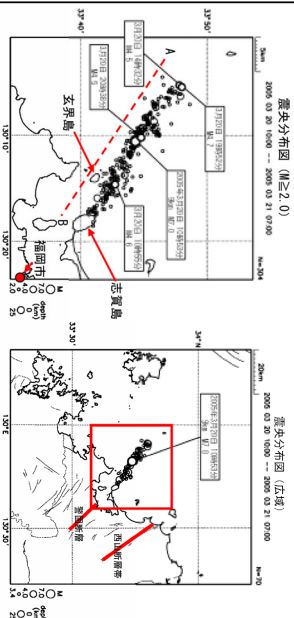
福岡市西区玄界島

2005. 3. 20~22.

東京工業大学 瀬尾和夫

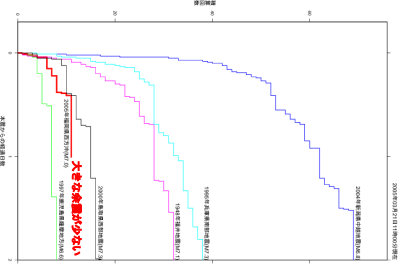


気象庁報道発表資料(第3報, 3. 21 14:30発表)による震央分布



気象庁報道発表資料(第3報)による震央分布

震央位置	震源位置	震源深さ	震源メカニズム	震源パラメータ	震源メカニズム	震源パラメータ
1	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000
2	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000
3	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000
4	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000
5	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000
6	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000
7	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000
8	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000
9	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000
10	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000
11	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000
12	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000
13	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000
14	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000
15	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000
16	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000
17	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000
18	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000
19	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000
20	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000
21	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000
22	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000
23	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000
24	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000
25	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000
26	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000
27	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000
28	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000
29	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000
30	132°40' E, 33°40' N	9 km	逆断層型	0.000	0.000	0.000





福岡市中央区



福岡市中央区の被害分布と 推定警固断層との関係

警固断層より東側の被害

殆どの被害が天神・大名・赤坂地区に集中している。

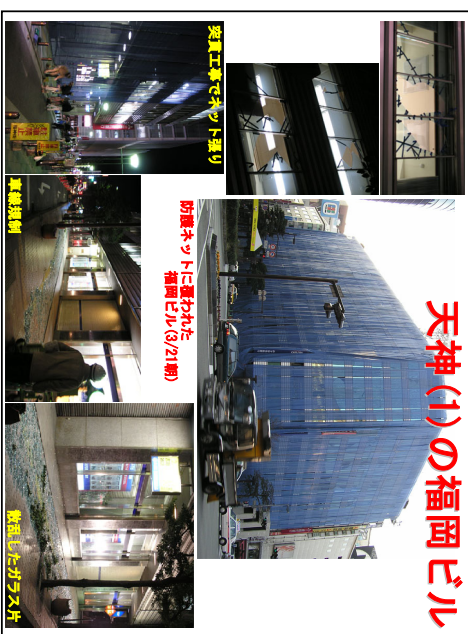
- 天神(1)：福岡ビル(密ガラスの破損落下)
- 天神(2)：福岡神社(本社の密ガラス破損と石灯籠の転倒)
- 天神(3)：安国寺(外周石壁の崩壊と石灯籠の転倒)
- 大名(1)：警固工場土久(しづ)ガスタンクの破損と工業の被害、相5ビル(06)建物の崩壊被害、立ち入れないため未確認)
- 舞鶴(1)：大蔵寺(山門の圧壊と石灯籠の転倒)
- 舞鶴(2)：西日本ソニー銀行(外壁タイル破損、内部詳細不明)、富士ビル赤坂(不同床下?、外周道路の被害)、材木店

警固断層より西側の状況

液状化に伴う博多湾岸の被害のみ。

- 大手門(2)：円応寺(墓地あり、墓石の転倒1以下と判定)
- 唐人町(1-3)：寺院多数(墓地あり、墓石の転倒2~3%と判定)
- 百道(1)：千歳神社(石碑等の転倒なし、寺院の屋根が一部破損)

天神(1)の福岡ビル



天神界限 (南側)



左側は石垣は壊れて無残

中には反対向き転倒も見られた



数少ない民家の被害

アーケードの補強工事(3/21)

新三町商店街 補強工事完了(3/22)



人的被害・物的被害 (3月22日06:00現在)

被害区分	全市	東区	神志区	中央区	南区	福岡区	早良区	西区(玄界島を除く)	玄界島
死者	1		1						
負傷者	823	61	148	178	43	20	72	92	9
住家被害	1750	73	10	21	6	5	24	1439	173
非住家被害	88	20	8	25	10	4	12	9	
罹	10	2			1	1	2	4	

避難状況 (3月22日07:30現在)

区市	東区	神志区	中央区	南区	福岡区	早良区	西区(玄界島を除く)	玄界島
1899(人)	174	98	288	31	23	74	853	348
894(世帯)	45	60	185	15	12	43	235	249
69(世帯)	17	11	14	4	4	6	12	1

統計資料は福岡市災害対策本部による

現時点でのまとめ

- ★ 今回の調査は地震発生から3日間のみのものでしかなく、調査の対象とした地域は福岡市西区の玄界島と糸島半島北端地域、早良区百道浜、中央区の天神から唐人町に至るごく限られた地域であった。
- ★ 福岡市街の被害はそれほど大きなものではなかったが、日頃から地震災害に馴染みのない福岡市民にとっては大変な脅威であった。
- ★ 玄界島は震源に近かったために他地域に比して甚大な被害を蒙った。自力での復旧・復興は困難な状況にあり、行政による特段の配慮が必要になるものと思われる。
- ★ 推定されている震固断層は活動していないが、断層周辺の被害分布には断層に起因した地下構造の影響が含まれているものと考えられる。今後、断層近傍の地下構造と地震動特性の関係を明らかにしておくことは重要である。
- ★ 福岡市はこれまで地震災害を経験してはいないはずであるが、その割りには地震直後の発災対応は適切であったと思われる。今後は中長期的視野に立った復旧・復興対策が望まれる。

今後追加すべき検討項目

- 地震観測・震度情報のまとめと余震観測(4/6より開始)
- 地盤条件・地盤資料のまとめ、微動測定調査の必要性
- 地下鉄等の運行規制の状況
- 体験談(1週間後の西日本新聞)の分析